

Ⅲ 道路改良事業：主要地方道 福山沼隈線（福山沼隈道路）

（１）事業概要

- ① 事業箇所 福山市草戸町～福山市熊野町
- ② 規模等 道路延長：4.5 km 車道幅員：14.0m（全幅員：20.0m）
- ③ 全体事業費 390.0 億円（前回の再評価時は 280.0 億円）
- ④ 工期 平成 12 年度～令和 7 年度（前回の再評価時は平成 12 年度～令和 5 年度）

（２）再評価の事由

好事が特に必要と認めた事業のため（補助事業採択）

（３）審議内容

① 事業の内容と必要性

主要地方道 福山沼隈線（福山沼隈道路）は、福山地方拠点都市地域の南方向の幹線道路として、一般国道 2 号福山道路と接続し、福山市中心部と市南西部及び沼隈町方面地域との連絡を強化する役割を担っており、県土の一体的発展を担う広域道路（交流促進型）として位置づけられている。

当該事業区間と並行する現道の主要地方道 福山沼隈線は、主要渋滞箇所である洗谷交差点において、朝夕の通勤時間帯を中心に、慢性的な交通渋滞が生じている。

このため、交通渋滞の緩和及び交通安全の確保並びに円滑な緊急活動や災害時の緊急輸送道路の確保等を目的として、当事業を推進していく必要がある。

② 事業を巡る社会情勢及び必要性等の変化

国勢調査によると、福山市の人口は、平成 27 年の 464,811 人に対し、令和 2 年は 461,268 人と減少している。

一方で、道路交通センサスによると、事業箇所である福山市熊野町の交通量は、平成 22 年度の 14,870 台/日から、平成 27 年度は 15,299 台/日と増加しており、本事業の必要性についての変化はないものと考えられる。

③ 進捗状況と今後の見通し

長和 IC（仮称）の整備内容の変更等により、事業期間が延伸したものの、現在は令和 7 年度の事業完了に向け、着実に工事が進められている。

④ 事業費の増減と現時点での費用便益比

前回の再評価時と比較し、全体事業費が 390 億円と、110 億円増加している。

これは、現地の詳細調査により、地盤改良工及び法面対策工の追加や、橋梁の基礎構造等の変更が生じたことに加え、関係機関との協議により、長和 IC（仮称）の整備内容の変更及び旧橋下部工の撤去範囲の変更等が生じたことによるものである。

費用便益比 B/C については、「費用便益分析マニュアル（H30.2 国土交通省道路局 都市局）」に準拠して行われた分析によれば、評価期間を供用開始後の 50 年間、社会的割引率を 4.0%とした結果、前回の 3.6（総便益（B）：1,126.6 億円、総費用（C）：312.8 億円）から 2.4（総便益（B）：1,050.8 億円、総費用（C）：429.4 億円）と減少している。

⑤ その他特筆すべき事項

主要地方道 福山沼隈線（福山沼隈道路）は、事業完成後には広島県第一次緊急輸送道路（広島県緊急輸送道路ネットワーク）に位置付けられる予定である。

地元の福山市からは、福山道路との一体的な整備を行うことで、「福山港ふ頭再編改良事業」とも相乗効果が発現し、物流の効率化及び企業の生産性の向上に寄与するものと期待されており、早期完成を強く要望されている。

(4) 結論

事業の必要性と費用便益比を勘案し、当該事業の継続実施については適当と判断する。

関係各位には、コスト削減に取り組むとともに、予定としている令和 7 年度までに事業を完了させ、計画どおりの事業効果が得られるよう、一層の努力をお願いする。